

# 環境経営レポート

＜2023年度版＞

活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

私達は事業活動を通じて環境保全に取り組んでいます



登録N01653

発行日：2024年8月30日

 市川総業有限会社

目次	1. 組織の概要	-頁1
	2. 環境経営方針	-頁2
	3. 活動組織及び役割分担	-頁3
	4. 環境経営目標と実績	-頁4
	5. 活動計画及び結果、評価	-頁5
	6. 適合法令と遵守確認	-頁6
	7. 代表者の見直し・指示	-頁7
	8. 活動事例紹介	-頁8

## 1. 組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

事業所名 市川総業有限会社  
代表取締役 市川 総司

### (2) 所在地

本社	住所	〒387-0023	長野県千曲市大字八幡6692-1
資材置場1	住所	〒387-0023	長野県千曲市大字八幡6694-1
資材置場2	住所	〒387-0023	長野県千曲市大字八幡6687-3
資材置場3	住所	〒387-0023	長野県千曲市大字八幡6752-3

### (3) 環境管理責任者・連絡先

責任者 荒井千春  
連絡先 TEL: 026-274-4020  
FAX: 026-274-4070  
E-mail: c.arai-isg@cap.ocn.ne.jp  
Home page: <https://www.ichikawasougyou.com/>

### (4) 事業内容

《認証登録の範囲》 建設業・産業廃棄物収集運搬業

### (5) 事業の規模

創業 昭和56年10月6日  
資本金 800万円  
売上高 4億2千万円  
敷地面積 51.30㎡  
従業員 14人

### (6) 事業年度 6～5月

### (7) 事業許可と施工実績一覧

①建設業	長野県知事許可(般-3)第12134号	有効期限	令和8年11月16日
	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、舗装工事業、水道施設工事業		
②産業廃棄物収集運搬業	長野県知事許可 2006132688	許可取得年月日	令和4年1月16日
		有効期限	令和9年1月15日
	木くず、がれき類、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		

・産業廃棄物運搬車両台数 大型ダンプ 1台  
キャブオーバー 2台

#### ・収集運搬実績

廃棄物の種類	収集運搬量(t)
木くず	22.655
がれき類	10.912
廃プラスチック類	7.385

# 環境経営方針

## 【基本理念】

市川総業有限会社は、自然豊かな長野県千曲市において、主に建設業を通じて社会インフラの整備に取り組んでおります。

建設工事は時として、生活環境に大きな変化をもたらしてしまうリスクを抱えています。

安心・安全な社会インフラ整備を通じて、地域の環境維持とともに社会に貢献していきます。

## 【活動方針】

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

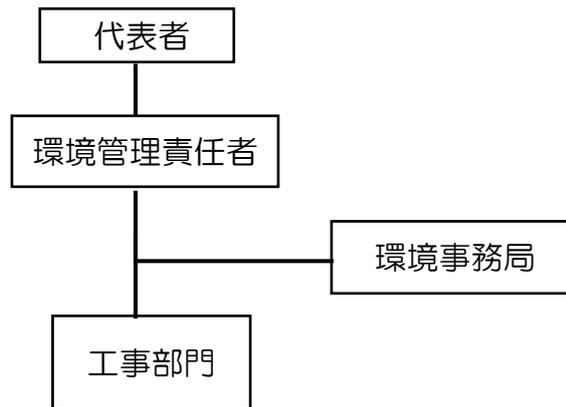
- 1 以下の取り組みを通して、省エネを促進し、二酸化炭素排出量の削減を目指します。
  - ① 化石燃料の消費削減における二酸化炭素の排出量の削減
  - ② 電気使用量の削減
  - ③ 省エネルギー設備への更新や環境配慮自動車、(電気・ハイブリッド)の導入の推進。  
現場には、排出ガス対策型、環境配慮型等の建設機械を積極的な導入。
  - ④ クリーンエネルギーへの切り替えの促進
- 2 廃棄物の削減のため、分別の徹底、再利用、再資源化を推進します。
- 3 ICT技術を活用し、働きやすい環境の整備に努めます。
- 4 環境関連法規・条例の遵守に努めます。
- 5 地域の環境整備活動には積極的に参加し、地域の環境を守ります。
- 6 環境経営方針を全社員に周知させて、継続的改善を行い環境意識の向上を図ります。

制定日：2022年11月1日  
市川総業有限会社  
代表取締役 市川総司

### 3. 実施体制

#### 1) 組織図

版:2018年07月16日



※ 各テーマ別のグループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

#### 2) 責任及び権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。</li> <li>システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。</li> <li>環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> </ul>
管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。</li> <li>推進委員会を定期的開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する。</li> <li>法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。</li> <li>環境経営目標を設定し、環境経営計画を確認し承認する。</li> <li>問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。</li> <li>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。</li> <li>環境経営目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(社内に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> </ul>
推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の指示のもと、環境経営システムの運用を行う。</li> <li>方針に基づき、目標及び活動計画の策定を行い、承認を得る。</li> <li>是正処置又は予防処置を実施、結果を環境管理責任者に報告する。</li> <li>関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理。</li> <li>活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する。</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理。</li> <li>緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針、環境経営目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。</li> <li>環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案</li> <li>異常時、緊急時の報告</li> </ul>

#### 4. 環境経営目標と実績の推移

環境経営目標		2021年度 (基準年)	2022年度 (2022/6~2023/5)		2023年度 (2023/6~2024/5)		2024年度 (2024/6~2025/5)		
1	CO2排出量の削減 (Kg-CO2)	164,618.0	目標	162,971.82	1%	161,325.64	2%	159,679.5	3%
			実績	120,928.00	○	180,610.05	×		
2	電気使用量の削減 ※1 (kWh)	3,336.0	目標	3,302.64	1%	3,269.28	2%	3,326.0	3%
			実績	3,742.00	×	3,760.00	×		
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	5059.39	目標	5,008.80	1%	4,958.20	2%	4,907.6	3%
			実績	4,272.98	○	4,438.11	○		
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	57,887.60	目標	57,308.7	0.0	56,729.8	2%	56,151.0	3%
			実績	42,116.0	○	65,137.81	×		
4	灯油使用量の削減 (ℓ)	898	目標	889.02	1%	880.04	2%	871.1	3%
			実績	364.50	○	324.00	○		
5	LPG使用量の削減 (m³)	6.5	計画	6.44	1%	6.37	2%	6.3	3%
			実績	5.70	○	5.00	○		
5	水使用量の削減 (m³)	675	計画	668.25	1%	661.50	2%	654.8	3%
			実績	707.00	×	672.00	×		
6	一般廃棄物の削減 (kg)	420	計画	415.80	1%	411.60	2%	407.4	3%
			実績	300.00	○	736.01	×		
7	産業廃棄物の削減 (t)	312.64	計画	309.51	1%	306.39	2%	303.3	3%
			実績	454.50	×	593.00	×		
8	化学物質の削減 (ℓ)	0	計画	0.00	1%	0.00	2%	0	3%
			実績	0.00		0.00			
9	製品・サービスでの 環境貢献活動	1	計画	1.00	1	1.00	1	1	1
			実績	1.00	○	1.00	○		
10	環境保全活動の実施 ※2 (回)	1	計画	1.00	1	1.00	1	1	1
			実績	1.00	○	1.00	○		

※1 CO2排出量算出基準

(使用化石燃料) × 排出係数 + 購入電力 × CO2排出係数

0.382 kg-CO2/kWh)

※2 会社周辺の清掃、ボランティア活動への参加回数、等

### 5. 活動の結果と評価、次年度の取り組み

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	活動計画	評価	取組の評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力の削減		事務所内照明のLED化	待機電力の削減
	・昼休みの節電(消灯)	○		
	・エアコンの温度設定冷房28度、暖房20度	◎		
	・待機電気機器のスイッチ節電	○		
	2. ガソリン使用量の削減		エコドライブを心がけている	エコドライブを心掛ける
	・社用車の日常点検	○		
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	◎		
	3. 軽油使用量の削減		エコドライブを心がけている	点検の実施
	・車両(重機)の日常点検	◎		
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	◎		
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	◎		
	4. 灯油使用量の削減		必要以外の暖房機器のスイッチOFF	効率的な暖房利用を心掛ける
・ストーブの適正温度設定と温度管理	◎			
・適正な暖房機器の使用	◎			
・休み時間の消化、隙間対策	○			
廃棄物削減	5. 一般廃棄物の削減(基準年比2%削減)		分別の徹底	分別の徹底の継続
	・分別と再生利用の促進	◎		
	・計量と分別状況の点検	◎		
	・ゴミ箱周辺の見回りチェック	○		
用水	6. 水使用量削減		節水は日常的に行われている。	引き続き節水の周知
	・節水ラベル貼付	◎		
	・洗車頻度の見直し	○		
G調達	7. グリーン調達活動		事務用品などの購入はできる限りエコ商品を購入するようにしている。	購入の際はエコ・グリーン商品を選択するようにする
・対象品に限らず環境配慮品の優先購入	○			
社会貢献	8. 環境保全活動の推進		適宜行っている	創意工夫をし、継続して美化活動をしていく。
	・会社、現場周辺のゴミ拾い(2回/年)	○		
業務改善	・身の回り/職場の整理・整頓(半年毎)	◎	お盆前、仕事納めの前に実行できた	今後も整理・整頓に努める
	・安全教育訓練等、講習会の参加	○	資格取得にかかる費用を会社が負担	講習会の参加を促す
	・社員のスキルアップ	○		

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容、

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 —:該当なし

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃油等)の適正処理	契約書・許可書	○
		(電子)マニフェスト	○
オフロード法	基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	適合証明書	○
騒音規制法	指定地域における特定建設作業	届出書	—
振動規制法		届出書	—
消防法(危険物)	指定数量1/5未満の危険物の貯蔵	現地点検記録	—
水質汚濁防止法	移動タンクの事故時の措置	事故の発生無し	○
労働安全衛生法	使用化学物質のSDS入手と掲示	SDS表示	○
建設リサイクル法	対象工事における届出書作成	届出書	○

### (2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3年間、関係各機関からの指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

## 7. 経営者の見直し・指示

### 【取り組みの概要】

- ・当社では各取り組みを会社事務所及び資材置き場と、各工事現場でそれぞれ取り組みを行う。
- ・会社事務所及び資材置き場では、電気使用料及び水道使用量又は廃棄物の削減に取り組む。
- ・各工事現場では建設機械の運用が多いため、軽油やCO2排出量の削減に取り組む。

### 【取り組みの見直し】

・事務所では前年に引き続き、節水シールの貼付・エアコンの温度設定など見直す又は管理することに取り組む、それぞれの約束事等の徹底を図れた。

・現場においては、機械の合理的な運用や適切な使用で燃料の使用量を削減するなどの取り組みを実施し、現場ではその徹底がみられた。

取り組みを行ったものは周知徹底がみられ、内容としては良好と判断した。

いくつかの目的を達成出来なかったものもあるが、工事量の増加に伴うもので結果としては満足している。

### 【今後の指示】

- ・現在取り組んでいるものの継続及び改善を図りたい。
- ・新たな取り組みとして、エネルギー削減についての話題や会話をする回数を増やし、各個人の意識の向上を図りたい。
- ・地球環境のためにできることを皆で考え実施していくという職場環境を目指していきたい。

## 8. 活動事例紹介

### 1. SDGsへの取組み



長野県SDGs推進企業に登録して、次の目標を設定して活動を開始しています。

- 目標1 地域社会への貢献
- 目標2 社内のペーパーレス化を推進  
ゴミ分別の徹底をすることで再資源化を増やす
- 目標3 国交省の生産性革命プロジェクトである  
I-Constructionを推進し生産性の向上を図る

### 2. 節水、節電活動への取組み

活動の基本として、事務所内の証明スイッチ及び水道の蛇口に節電・節水レベルを貼り、活動の推進と意識の高揚を図っています。



### 3. 定期清掃活動

工事現場、会社周辺の景観を維持して、気持ちよく活用していただくために定期的に道路とその周辺の作業を行っています。



赤塩地区の枝払い作業



会社置き場の草刈り



会社周辺のごみ拾い

### 4. 社有車の定期清掃

定期的に清掃をすることで社有車をきれいに維持でき、且つ異変にすぐに気づくことができます。

